

◎消防一般の経費

消防運営事業	【 消防総務課 】
--------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち
 地域安全: 災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 消防職員等

意図 職員の健康管理、事務の効率化、各団体との情報交換等を実施し、消防業務の円滑化を図るため。

効果 職員の元気回復・体力増進、消防業務の効率化を図り、三浦半島地区、県、国レベルでの災害応援要請等があった場合の活動体制を確立し、迅速な活動をめざす。

【事業の内容】

- (1) 消防運営事業
 - ・ 旅費、各署所の光熱水費、負担金等の執行、事務用機器の貸借及び職員への被服の貸与など消防に係る一般事務を行った。
- (2) 福利厚生事業
 - ・ 職員の保健、元気回復その他厚生に関する事項について計画し実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消防署所の総合的整備・充実(5-1-4-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
62,740	62,735	59,779		2,956
主な支出内訳				
・ 消防運営事業				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,008
事務補助嘱託員費用弁償				147
普通旅費及び消防学校等研修旅費				2,048
各署所光熱水費				25,851
職員貸与被服費				9,492
各署所及び自動車電話等電信料				2,941
寝具類供給業務委託料				2,854
電子複写機保守委託料				1,198
消防吏員採用試験委託料				72
電子複写機賃借料				869
神奈川県消防学校研修負担金				1,984
消防大学学校教育研修負担金				520
全国消防長会等負担金				547
・ 福利厚生事業				
職員福利厚生に係る事業委託料				8,219

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 消防-01 消防運営事業 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	217 消防一般運営事業					
		220 消防福利厚生事業					
主管課	消防総務課		関連課				
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	消防職員の資質の向上を図るため、研修・訓練を充実させる。 職員の50%が研修を受講する。						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	59,779千円	59,308千円	60,840千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	59,779千円	59,308千円	60,840千円			
	人員配置数	3.5人	4.5人	4.0人			
	人件費	32,869千円	43,565千円	38,655千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	92,648千円	102,873千円	99,495円			
	市民1人当 りの経費	525円	585円	568円			
	対象者1人 当りの経費						
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している							
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・限られた人員の中で研修を受講させるには時間外勤務手当の支給となってしまふ。 ・希望する研修に予算の関係上受講させることができない。 ・救急資格取得の研修に多くの職員を派遣したいところが、負担金、配置人員の関係上一定数となってしまふ。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・限られた人員配置ではあるが、可能な限り研修に参加させた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・警備人員の関係で、研修への派遣が制限される。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 業務の再点検を行い、見直しを図る。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	研修受講体制は今後も継続していき、受講した職員に講師をさせるなど、部内の研修も充実させていく。				
担当課長氏名:		堀 英彦			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	A	改善の必要性 無
	消防力の総合的強化を図る目的で、職員研修の充実を図る。				
担当部名	消防本部	部長名	畑 光則		